



2021年1月29日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

「未来創生 2号ファンド」
AI 動画編集クラウド『Video BRAIN』を展開する株式会社オープンエイトへの投資実行
—AI のサポートで動画編集をより簡単に—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生 2号ファンド」が、AI 動画編集クラウド『Video BRAIN』を展開する株式会社オープンエイト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：高松雄康。以下、オープンエイト社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせします。オープンエイト社は今回の調達資金を活用し、開発投資と営業人員の拡充および広告宣伝投資を行い、更なる事業伸長を目指します。

■投資先企業の概要

オープンエイト社は、自然言語処理とコンピュータービジョンを中心とする独自の AI 技術を開発し、アルゴリズム・ソフトウェアモジュール群からなる "OPEN8 CORE TECHNOLOGY" を保有するコンテンツテクノロジーカンパニーです。「AI × SaaS であらゆる企業の情報流通戦略の成長ドライバーとなる」ことをコンセプトに、動画広告事業及び動画メディア事業で培った動画コンテンツ制作・配信ノウハウと、AI 技術を組み合わせて開発したインハウス AI 動画編集クラウド『Video BRAIN』や SNS 投稿・分析サービス『Insight BRAIN』（インサイトブレイン）、そして動画自動生成機能などの API 提供を通じて企業による情報発信の支援を行っており、2019年には米 Red Herring 社がアジアにおける革新的なベンチャー企業に贈る「2019 Red Herring Top 100 Asia Winner」を受賞しています。

■「未来創生（1号）ファンド」及び「未来創生 2号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2号ファンドの運用を開始しました。2020年12月末時点の運用資産残高は、1号と2号あわせて、885億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室



TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com